

議会

だより

な

が

わ

第182号

令和4年(2022年)2月1日
発行：兵庫県猪名川町議会

い



議案審議

- | | | |
|--------|---------------|---|
| 11月臨時会 | 町長専決処分不承認に! | 2 |
| 12月定例会 | 3回目のワクチン接種始まる | 4 |

- | | | |
|------|------------------|---|
| 決算審査 | 財政運営は身の丈にあっているのか | 6 |
|------|------------------|---|

- | | | |
|----------|-----------|-----|
| 委員会の活動報告 | 農地利活用推進 他 | 8-9 |
|----------|-----------|-----|

- | | | |
|------|------------|----|
| 一般質問 | 7人が町の考えを問う | 10 |
|------|------------|----|

コロナに負けないぞ
(成人式にて)

道の駅検証委員会516万6千円の町長専決処分不承認に！

(町始まって以来、初の不承認)

第407回 11月臨時会

11月19日に開会し、専決処分1件、議員提出議案1件を審議。専決処分は、可否同数のため議長裁決で不承認。議員提出議案は、可否同数のため議長裁決により可決された。



道の駅移転用地として購入した土地(南田原)

専決処分

一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に2576万9千円を追加し、総額を113億157万3千円とする。

○道の駅検証委員会設置による弁護士4名に係る報償費など516万6千円。
○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費1260万3千円。
○事業者感染拡大防止対策補助金800万円。

ひとくちメモ

専決処分とは
議会の議決すべき案件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるとして認めるときなどの理由により、町長が議会に代わって決定すること。

(主な質疑)

◎ 地方自治法第179条の「緊急を要するため議会を招集する時間の余裕がなかった」との理由にしているが、9月22日まで定例会が開催され、追加議案として提案は十分可能であり、会期延長もできたはずである。また、緊急を要するのであれば、臨時会が即日でも開けたが、なぜそれをしなかったのか。

◎ 追加議案・会期延長するまでのやり方・方法の結論にならなかった。臨時会開催には、一定の日数がかかることを認識していた。検証委員会自体も日数がかかると考え、専決した。

◎ 行政報告・新聞発表の内容は決まっていた。原案はできていたため、議会との関係書式を整えるだけで、1日2日あったら臨時会は開催できたのになぜか。
◎ 執行部としては、臨時会の開催には時間がかかることを認識していた。

討論

反対 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業は専決処分として当然のこと。しかし、検証委員会に係る報償費などは、緊急を要する専決処分の要件には当たらない。今後、何でも専決処分がまかり通れば、町長による独走政治になりかねないという危惧がある。

賛成 専決された補正予算の内容は、国庫補助金で行う新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用、事業者への感染拡大防止対策補助の2事業、そして検証委員会に係る費用で、なぜ事業者未定の用地購入を行ったかなど、これらはいずれも必要なもの。
(可否同数のため議長裁決で不承認)

議員提出議案

いながわ活性化対策特別委員会設置に関する決議
道の駅いながわ機能拡大プロジェクト(既決定)に係る今後の対応・施策などについての調査を行うため、「いながわ活性化対策特別委員会」を設置。

委員会の定数は、8人とする。

(主な質疑)
◎ なぜ、今設置するのか。町長・町議補欠選挙で道の駅移転は不要と民意は決まっている。

◎ 町長選挙後、「道の駅移転」は岡本町長が凍結した。しかし本年度予算は動いており、それを止めるなら議決しなければならぬ。

◎ 凍結となつている南田原の土地をどう活用するかが明確にならないと前に進まないで、一番に検討しなければならぬ。道の駅だけでなく、町の将来を見据えた対策を研究する。

◎ 検証委員会の結果を見て、議論すべき。

◎ 用地購入は議決済み。しかし凍結をいつ解除するか報告もない中、議会外で凍結、中止などと町長が言っている。現在の道の駅拡充を提案されたこともない。移転がだめならどうしようとの議論が必要。

討論

反対 プロジェクトの入札不調や用地購入が極めて不透明なままの現段階において、それらの調査もなしに、なぜこのような結果を招いたかを検証しなければ、プロジェクトの今後、ましてや施策を検討するという段階にない。

賛成 9月議会でも何も示されず、10月1日に検証委員会を設置された事はまことに遺憾であり、議論を避けて課題が多く取り残されている状態である。議会として道の駅いながわ機能拡大プロジェクト(既決定)に係る今後の施策などについて特別委員会を設置し、真摯な議論の場を求めたい。

反対

企業が入札を辞退したのは、採算が取れないと判断し、この件に魅力がなかったことによる。民意は凍結を支持していると自覚し、弁護士4人による調査結果を受けての町長判断を見極めてから議論すべき。
(可否同数のため議長裁決で可決)

いながわ活性化対策特別委員会

- 男 修子 雄苗 夫榮 純
- 初 明 辰 早 和 澄
- 南 下 東 坊 松 井 井 山
- 山 古 下 末 福 福 丸

◎委員長 ○副委員長

議案等の審議結果

議案名等	議員名															
	南	阪本ひろ子	福井	上林	加藤	福井	古東	丸山	井戸	山下	山田	末松	池上	中島	池上	中島
承認第8号	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●
決議案第1号	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 ※2議案とも可否同数のため議長裁決。

みなさんも議会・委員会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは簡単です。当日、議会事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

〈常任委員会の日程〉

- 2月24日(木) 総務建設常任委員会
- 3月7日(月)
- 3月8日(火)
- 3月9日(水)
- 3月25日(金) 生活文教常任委員会
- 2月25日(金)
- 3月11日(金)
- 3月14日(月)
- 3月15日(火)

※いずれも午前10時から。※議事の都合により、また、新型コロナウイルス感染症の状況により、日程など変更することがあります。

3回目のワクチン接種始まる

第408回
12月定例会

12月3日から14日まで12日間開会し、専決処分1件、人事案件1件、補正予算1件、条例制定1件、条例改正2件、変更契約1件、指定管理者の指定2件、議員発議1件を審議。全て原案どおり可決した。

請願については、不採択とした。また、11月臨時会における専決処分の不承認に伴う措置について、町長より口頭報告を受けた。

2年度一般会計決算については、賛成多数で認定され、4特別会計決算は全会一致で認定した。

一般質問は7人の議員が行った。



ワクチン接種会場(日生中央サピエ2F)

が、地方自治法第179条第4項の規定により、『予算に関する措置について承認を求めると、普通地方公共団体の長は、速やかに、当該措置に關して必要と認める措置を講ずるとともに、その旨を議会に報告しなければならぬ。』とされています。必要と認める措置として、専決処分を行った経緯及び専決処分が不承認となったことについて、町ホームページなど情報媒体を通じて町民のみなさまにご説明し、この旨を議会に報告させていただきます。

今回の専決処分の不承認に關しては、提案者である町長として大変重く受け止め、町民のみならず、まに心よりお詫び申し上げます。

今後、このような事態が起らないよう適正な事務執行に努めてまいりますので、引き続き町政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

専決処分

一般会計補正予算(第4号)

18歳以下に支給する子育て世帯臨時特別給付金事業費2億3534万5千円を追加。

人事案件

任期満了に伴う公平委員会委員の選任に同意
北山義和 氏

補正予算

一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額に1億5298万2千円を追加し、総額を116億8990万円とする。

(主なもの)

○3回目の新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業費5378万3千円。

○特別支援教育就学奨励費(福祉タクシー運行委託料)835万円。
○障害児通所等給付費1385万1千円。

条例制定

手話言語条例の制定

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及および手話に対する理解を図る。(P9参照)

条例改正

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額などを変更。

国民健康保険条例の一部改正

未就学児の被保険者均等割額の減額を規定。(P9参照)

指定管理者の指定

社会福祉会館の指定管理者の指定

公益社団法人 町シルバー人材センター

総合福祉センターの指定

社会福祉法人 町社会福祉協議会

変更契約

町立中谷中学校校舎棟外壁改修工事(予防改修) 1億3871万円を1億4326万4千円に。



再編に向けて工事が進む中谷中学校

報告

一般会計補正予算(第3号)の専決処分の不承認に伴う措置

町長から次のとおり口頭で報告された。「専決処分は、議会の承認が得られなくてもその効力に影響はありません」

討論

議案第39号 2年度一般会計歳入歳出決算の認定

(賛成10、反対4で認定)

反対

道の駅移転用地購入の過程や入札結果などにおいて議会への説明と事実が異なっている。コロナ禍で立ち止まっていたべきであった道の駅移転機能拡大プロジェクトの全体計画を見直すことなく土地購入・債務負担行為を推進に行った。

賛成

2年度予算措置及び執行について、おおむね適正に履行されている。町債残高や実質公債費比率の上昇が見られるが、将来負担を示す指標は他市町に比べて良好な数値で、健全化判断比率について問題なく健全な状態を引き続き維持していると言える。

町長は道の駅プロジェクトのエフトをどうしたいのか議会には何も報告無く、検証委員会設置の行政報告のみ示された。町長の姿勢は、住民を不安にするため、まずは議会への説明をするべき。

賛成

道の駅の移転整備計画のてん末をしっかりと説明しなければ、政治を信用してもらえない。次の一歩を進めるために、今までの経緯を振り返って正否を明確にし、文書ではなく肉声によって住民に誠意を伝える説明会を開催するべき。

議案等の審議結果 ※全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名等	会派名											議長					
	公明党	グリーンズいながわ	いながわ輝星	民主猪名川	あゆみの会	日本共産党	池上哲男	中島孝雄	山下修	丸山純	古東明子		加藤和夫	福井辰巳	福井澄栄	阪本ひろ子	南初男
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 ※中島孝雄議長は、議案第39号については採決に加わらないため「-」で表示。請願第2号は可否同数のため議長裁決。

意見書を提出

発議第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に對処し地方財源の充実を求める意見書

結果

全会一致で可決 「意見書」を国へ提出

要旨

4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、3年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的同水準を確保するとされているが、地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう政府に十分な財源確保を求めるもの。

財政運営は身の丈にあっているのか

2年度各会計（水道事業会計・下水道事業会計を除く）決算は、各常任委員会で4日間にわたり審査・認定した。

総務建設 常任委員会

総務

財政運営は身の丈にあっているのか、子どもや孫に借金を残す状況か。

基金残高は37億6800万円。実質的な町の借金は約15億円程度。基金は減少傾向になっているが、プロロジスなどで一定の税収が見込まれる。将来に負担を残さないよう努力していく。

徴収率が県内一のことだが、状況は。

座振替、コンビニやクレジットカード納付、共通納税システム及び、スマホ決済での納付など多チャンネル化し、納めやすい環境を整備してきたことが要因。

ガス式発電機を年に3台ずつ購入しているが、



ガス式発電機

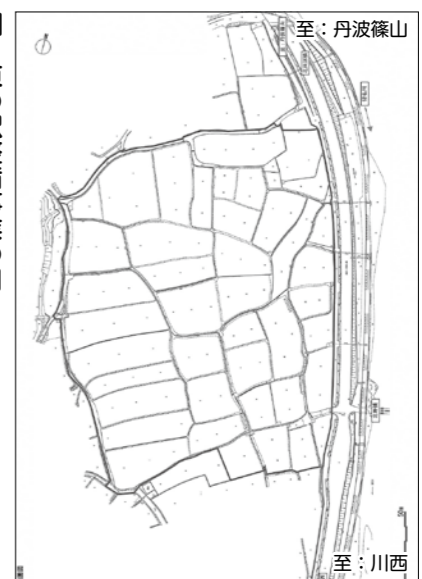
出力はどれくらいか。また、電気自動車を非常用電源としている市町村もあるが、本町の考えは。

地域振興

町内の新規就農者の人数と農福連携の今後の方向性は。

2年度末の新規就農者は5名。3年度に入ると2名就農。そのほか農業大学に通いながら農地を探している人が1名

いる。農福連携は、今年度、福祉課やJAと調整し、どのように進めていくか検討している。



購入した南田原の土地

急傾斜地崩壊防止工事について、町内にはレドゾーンの急傾斜地が多く、莫大な費用がかかると思うが、今後どのように進めていくのか。

急傾斜地で被災する可能性のある家が5戸以上は県の事業対象。10戸以上は国の事業対象。今後、地域の要望を受け県に申請し、県が予算や事業量を調整する。



急傾斜地の工事(伏見台3丁目)



宝塚市救急車 川西市消防車 猪名川町消防車

生活文教 常任委員会

消防

広域連携2市1町間の、救急及び火災時の本町からの出動件数と、他市からの応援件数は。

救急応援件数は、川西市へ31件、宝塚市へ4件の出動。川西市から47件、宝塚市から4件の応援を受けている。火災応援件数については、川西市へ5件、宝塚市へ3件出動。また川西市から3件、宝塚市から2件の応援を受けている。

生活

マイナンバーカードの取得率は。

8月末の申請件数が1万6714件で、申請

異世代間交流として、シルバー人材センターへ事業委託している。核家族化が進む中で、子育てなども経験してきた高齢者と、現在子育て中の若い人が、子どもの育て方

教育

新設校の清陵中学校へのスクールバスは無料で保護者負担はないが、閉園予定の松尾台幼稚園について、六瀬幼稚園へ通園するにあたり、無料にする考えはないか。

通園バスは利用者負担のため、他園の保護者との公平性の観点からも使用料は負担してもらう方向で検討している。

GIGAスクール構想に基づく、児童生徒へのタブレット端末配布について、借り上げ期間は何年か。また授業での活用状況は。

借り上げ期間は5年である。また県の調査によると、本町ではほとん

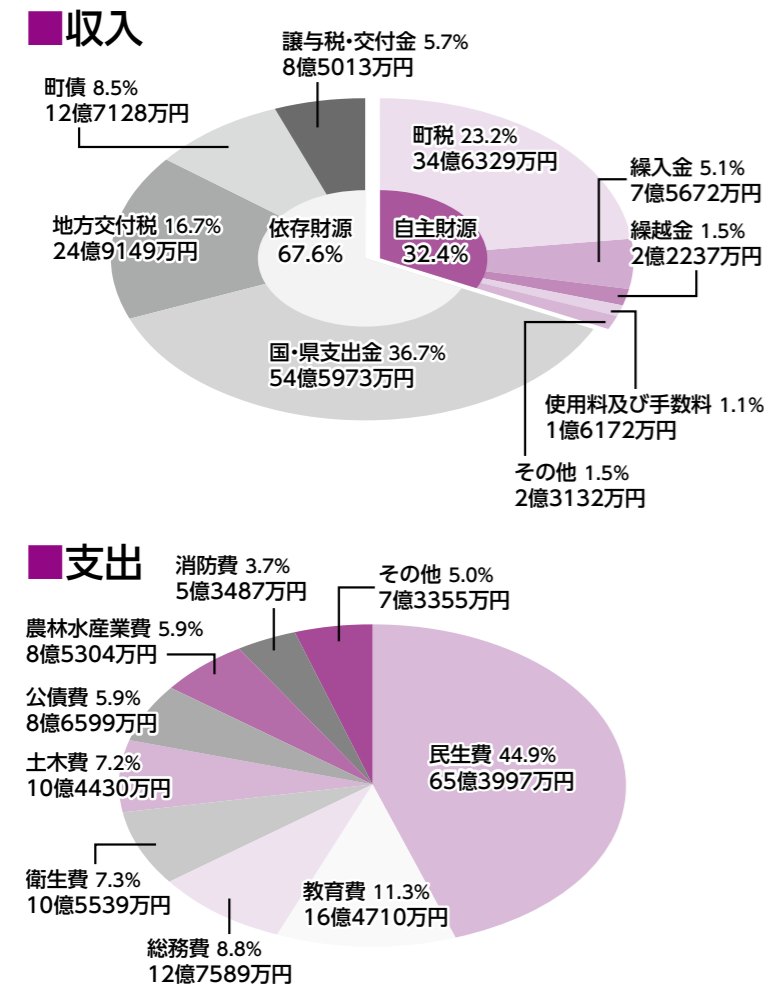
どの学校・学年で、週の半分以上使用しており、ほぼ毎日使用している学校やクラスが多いという現状である。

2年度 各会計別決算状況

会計区分	収入	支出	収支差引残額	
一般会計	149億805万円	145億5010万円	3億5794万円	
特別会計	国民健康保険	32億6354万円	32億1870万円	4484万円
	介護保険	23億1840万円	22億3875万円	7965万円
	後期高齢	8億7762万円	8億6188万円	1574万円
	奨学金	6161万円	4717万円	1444万円
合計	214億2922万円	209億1661万円	5億1261万円	

※各会計ごとの決算額を表示単位未満で端数処理をしているため実際の決算額と一致しない場合があります。

一般会計の内訳



主な質疑

特別会計

国民健康保険

◎ 特別交付金である県繰入金2号分は、何らかの事業を展開すれば交付金が増えるのか。

A がん検診などの受診率に連動して入る交付金で、以前からも、交付金を獲得できる検診事業などのメニューを検討し、受診率などが向上するように、保健センターなどと連携しながら取り組んでいる。

介護保険

◎ 地域包括支援センター職員を1名増員した。地域包括ケアシステムについての新たな取り組み内容と、その成果は。

A 「給食でつなぐ猪名川の輪」として、老人会の人々が各学校を訪問し、児童たちと給食を食べて、介護予防に努めるメニュー



受診率が向上するよう保健センターと連携

ーを加える予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。コロナ禍のため、まず現在の事業を立て直すことを考え、一方で交付金の制約がある中で、今後も努力していきたい。

奨学金

◎ コンビニでの貸付金返還の利点は。

A 利用者にとって、役場や金融機関より、身近な場所での返還できるため利用しやすい。

お知らせ

特別・兵庫ジャーナル賞を受賞

県町議会議長会広報紙コンクールにおいて、いながわ議会だより第179号が「特別・兵庫ジャーナル賞」を受賞しました。

これからも、わかりやすく、親しみやすい広報紙づくりに一層の努力をしてまいりますので、ご愛読をよろしくお願いいたします。



受賞作品 第179号

委員会の活動報告

いながわ活性化対策特別委員会

道の駅いながわなどの現状を視察

12月22日、委員会を開会し、道の駅いながわ及び移転先として購入した南田原の土地の現状について現地を視察した。

◎ 道の駅のトイレや施設を改修すると、いくらかの費用がかかるのか。

A 今までは移転ありきで維持補修経費をできるだけ抑えていた。改修方法などはまだ考えておらず、費用は分からない。

◎ 南田原の購入した土地の今後の管理は職員がするのか。

A 草刈りをシルバー人材センターに、耕起をJAに委託し、里道・水路を含めた管理を行う。



総務建設

農地利活用推進



農地バンク（公益社団法人ひょうご農林機構のパンフレットより）

12月6日、委員会を開会し、付託2議案を審査。主な質疑は次のとおり。
一般会計補正予算（第5号）

農地利活用推進事業

で、農地集積に協力した農家の件数や農地面積などの詳細は。
A 農業をリタイアする農家が、所有の農地すべてを農地中間管理機構へ

通じて担い手に貸し付けた場合に、機構集積協力が交付される。該当は1件35アールで、10アール当たり1万5千円を乗じた5万2500円を予算化した。

公文書の保管について、今後デジタル化により紙を減らす取り組みなどの状況は。

A 文書の電子化も検討している。文書管理システムの導入は他の自治体でも進んでおり、今後のデジタル庁の動きなども注視しながら、引き続き取り組みを進めていく。（全会一致で可決）

道の駅事業計画に関する住民説明会開催についての請願（賛成少数で不採択）

生活文教

手話言語条例を制定



手話で語らう

12月7日、委員会を開会し、付託6議案を審査。主な質疑は次のとおり。

手話言語条例の制定
町の責務の具体的な内容は。また、役場職員については。

A 施策推進については、手話通訳者などによる手

話施策推進会議で最終決定する。住民へはパンフレットなどを作成・配布して周知。学校では福祉教育で手話の体験学習を実施。職員へは、手話の体験研修や動画配信で学ぶ企画も考えている。

一般会計補正予算（第5号）

遠隔手話サービスのシステム負担金の詳細は。

A 病院受診時などに手話が必要な人へiPadを貸し出し、手話通訳者は役場でノートパソコンにより遠隔手話を行い、医師と意思疎通を図る。

国民健康保険税条例の一部改正

未就学児がいる世帯の納税義務者に対し、未就学児に係る基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の均等割額を、それぞれ5割減額する影響はどの程度か。

A 10月末時点で、未就学児が102名の83世帯、合計で104万円の減額を見込んでいる。（その他3議案も審査。いずれも全会一致で可決）

町の考えを問う

第408回定例会 一般質問

※各議員のQRコードでは、一般質問の動画が視聴できます。

Table with 3 columns: 質問順, 質問者氏名, 質問事項. Contains 7 questions from various council members regarding partnership systems, waste management, and safety measures.

(詳細は10～13ページをご覧ください。)

Q パートナーシップ制度更新の検討は

A 先進事例などを踏まえ前向きに検討

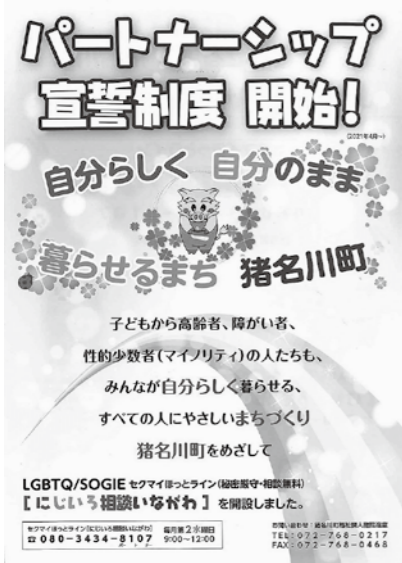


井戸 真樹 議員



現在、婚姻は法律により異性間同士のみに限られている。この法律を補完するためにパートナーシップ制度が導入された。しかし異性間同士であってもジェンダーの悩みや法整備の観点で、家族ではありたいが婚姻関係を結びたくないと考える人にとっては、現状のパートナーシップ制度が適用されない。ファミリーシップ制度にアップデートすべきだと考えるが。

現状のパートナーシップ制度は、利用者に子どもがいるかもしれないと想定された制度になっていない。この点については早急に取り組んでもらいたい。...



2021年4月より開始

Q 横断者注意喚起灯の設置で安全対策を

A 効果の動向について調査研究をしたい



阪本ひろ子 議員



横断者がいることをドライバーに知らせる横断者注意喚起灯の設置やゾーン30の表示で減速を促すなどの有効な安全対策を。...



横断者注意喚起灯ゆずるくん

地域振興部長 餌やりのルールを決めるなど「地域猫活動」により生活環境が改善し、殺処分される猫が減少するので、地域や活動団体と情報共有して、方向性を研究する。

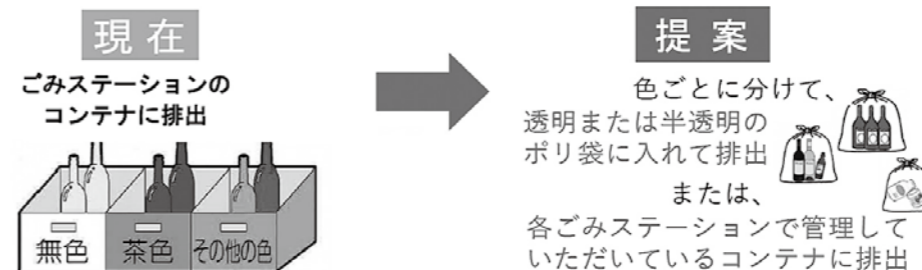
ひとくちメモ TNR トラップ・ニューター・リターンを略した言葉で、野良猫を捕獲(Trap)し、不妊・去勢手術(Neuter)を行い、元の場所に戻す(Return)のこと。

Q ビン出しでのコンテナ設置負担軽減を

A 袋出しも含め模索していく



福井 和夫 議員



コンテナ設置の負担軽減イメージ図(一部川西市HPより)

ビン出しをコンテナかポリ袋で出すかの選択制は。川西市では新年度からポリ袋に入れて出すか、コンテナを配置するか2通りが選択可能になる。...

込み。負担軽減に向け、ビンの袋出しも含めごみ収集のあり方を模索していきたい。...

Q 人口減少への対応策は

A 移住定住支援事業に力を入れていく



古東 明子 議員



本町の人口は、11月末で3万39人、総合計画は人口3万人維持を目標。予想以上に人口減少が進行年明けには3万人を割り込むと思われる。プロロジスパークが本格稼働するが、働く従業員や若い人を呼び込む、移住定住施策は。

企画総務部長 本町は、都市部の会社に出勤が可能、自然も豊かで多様な働き方・暮らし方ができる立地環境にある。今年度より移住定住支援事業に力を入れ、オンライン相談窓口の設置や県と連携し移住相談会の開催も実施し、町の魅力発信に



プロロジスパーク内のカフェテリア

努め、関係人口の増加につなげる。「町を元気にするには」のレポート提出を求めて町長と職員の面談がされたと聞く。今の成果は。町長 正規職員約260名と勤務時間中に30分程度で実施。斬新、突拍子もないものもある。色々なアイデアを聴き、まじづくりを進めて行きたい。川西市立総合医療センターが完成に向け進んでいるが、川西市との協議は。企画総務部長 4年9月開設に向け進んでいる。住民の利用は、従前と変わりないと思う。

Q 町の在宅医療・介護の現状は

A 在宅医療・介護連携支援センターを運営



福井 澄栄 議員



最近は人生の最後まで、住み慣れた我が家で天寿を全うしたいと願う人が、男女ともに増えてきている。「在宅医療・介護」とは医師、看護師などがひとつのチームとなり、定期的に自宅を訪れ必要な治療やケアをして、生活を見守り支える事業である。平成27年度から「在宅医療・介護連携推進事業」の実施主体が市町村に決まったが、町の在宅医療・介護の現状は。生活部長 平成25年2月から「つながりノート」を地域包括支援センター



在宅医療・介護を願う

などで希望者に配布し、在宅医療・介護の情報を関係者全員が共有して、適切な医療・介護につなげている。また、29年5月から川西市・猪名川町で、在宅医療・介護連携支援センターを設置し、運営している。入院した医療機関の地域連携支援室で相談し、町の地域包括支援センターなどが紹介され、要介護の認定を受け、ケアプランに基づき必要な介護のサービスを利用しながら、自宅で療養してもらう。

Q 段階的に小学校給食費の無償化とは

A 4年度に調査・研究を行う



下坊 辰雄 議員



町長の公約に、段階的に小学校給食費の無償化とあるが、前町長は3〜5歳まですべて無償化した。なぜ小学校だけ段階的なのか。共産党は、中学校までの給食費無償化を予算要望している。早期実現に向けての取り組みは。教育部長 公約の各事業について、現状や課題などを確認するヒアリングを実施し、4年度に調査・研究する。中学校は考えていない。幼・小・中学校教育の質を上げ、選ばれるまちへの公約は、どのような



無償化が望まれる学校給食

取り組みなのか。教育部長 町教育振興基本計画の基本理念「未来を描き、未来を拓く猪名川の教育」に基づき、今まで実践してきた教育に加え、ICT機器を効果的に活用しながら、さらに教育を充実させ、世界に通用する子どもたちの育成に向けて、学力・体力そして豊かな心の育成を図っていきたく考えている。今後も十分教育予算を確保しながら、さらに質の高い学校教育の充実に努める。

Q ごみ当番支援のその後の進展は

A 具体的な話には至っていない



池上 哲男 議員



戸別収集の話もあるが、今求められているのはごみ当番をどうするかということ。コロナは一定ではあるが落ち着いており、前に進めてもらいたい。現時点ではどこまで進んでいるか。地域振興部長 高齢世帯、単身世帯、共働き世帯の増加など、生活スタイルの多様化から、従来のごみ当番の方法が負担と考える世帯が増加しているのは認識している。その負担軽減に向け、ニュータウンの中でも高齢者の割合が大きい自治会の役員を対象に、6月と8月



ごみ当番 限界

に意見交換を行い、今後の進め方について協議をしていたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言が出され、解除後も開催できていない。戸別収集は収集困難地域やマンションもあり、公平性から経費を負担してもらうことになる。単純に割ると、1戸当たり5万6千円だが、全額負担を求めるのは困難と考える。他にも用具の軽量化、容器を使用しないごみ出しの方法、ステーションの位置の検討など、引き続き意見交換を行い、ごみ収集のあり方を考えていく。

美しい荘苑を目指して



猪名川荘苑
ボランテニアクラブ

代表 森 保夫

猪名川荘苑ボランテニア

ます。

クラブは、平成二十一年四月に発足。美しい荘苑をコンセプトにこれまで活動を続けています。メインは、入口、広場、空地の草刈清掃で、年五〜六回行っています。初めに取り組んだ大きな仕事は、傷んでいた二十一基のゴミ箱の修理で、以後三〜四年毎にペンキ塗りを行ってしています。住民の悩みは、犬の糞。飼主（約五十軒）に直接「貴方は、どうしたら減らせると思いますか」と質問、立て札の啓蒙と併せ、以後ほとんど無くなりました。子どもの遊び場、災害避難のための多目的広場も建設、子どもの要望で、サッカーゴールも設置しました。美化のため広場の横に花壇を作りました。四季折々の花を植え、通る人の目を楽しませてい

ます。暑い日、寒い日、きつい筋肉労働もありますが、住民から「ご苦労さま」のねぎらい、「ありがとう」の感謝の言葉が、次のエネルギーとなつていきます。「美しい荘苑」は、これからも続く永遠のテーマです！



花壇作り



草刈清掃

町内のインスタ映え



響きわたる歌声（人の広場）



わーっ、すごい！（出初式）



とんど（肝川地区）

新春を迎え

ごあいさつを

申しあげます

猪名川町議会

議長

中島 孝雄

副議長

丸山 純

議員

南 初男

下 坊 辰雄

福 井 澄榮

池 上 哲男

加 藤 郁子

山 田 京子

阪 本 ひろ子

福 井 和夫

上 林 辰巳

古 東 明子

井 戸 真樹

山 下 修

末 松 早苗

（議席番号順）